

学会ニュースNo.104 トピックス

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| ・2012年度(第67回)総会・研究発表大会のご案内 | ・地理写真展作品の募集 |
| ・2012年度立正地理学会評議員会のお知らせ | ・第40回講演会報告 |
| ・第108回臨地研究会(福島)報告 | ・卒業生から在学生への応援メッセージ |
| ・秋季例会(沖縄)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報) | |
| ・2011年度卒業予定の学生会員の皆様へ | ・会費納入のお願い |

会 告

○2012 年度(第 67 回)総会・研究発表大会のご案内

2012 年度(第 67 回)総会・研究発表大会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日時:2012 年 6 月 5 日(土)9:00(予定)より
2. 会場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A205 教室(予定)
(当日、校内に案内を掲示いたします)
3. 総会委任状について
総会委任状は次号の学会ニュースに同封します。
4. 昼食
学生食堂が営業しております。
5. 懇親会
 - 1)会場:立正大学熊谷校舎学生食堂(ステラ)
 - 2)会費:一般 4,000 円、学生 2,000 円(予定)
 - 3)時間:17:00~19:00(予定)
6. 発表申込について
 - ・発表希望者は、2 頁の発表申込用紙に所定事項を記入の上、2012 年 4 月 20 日(金)までに集会委員会宛に送付して下さい。
 - ※メールでも受け付けております。申込用紙と同内容を記載して次のアドレスまでお送り下さい。アドレス:geosoc@ris.ac.jp
 - ・発表の形式は口頭発表とポスター発表です。このほかに地理写真の展示があります。いずれかを選択して下さい。
 - ・口頭発表は発表時間 15 分、質疑応答 5 分の合計 20 分です。
 - ・ポスター発表の場合は、1 分程度の口頭による内容紹介を行っていただきます。
 - ・発表要旨集は作成しません。発表者は必要に応じて発表資料を用意して下さい。

- ・パソコンと液晶プロジェクターはこちらで用意します。プレゼンテーションソフトは Windows 版 PowerPoint2010 です。Windows で読み込めるフォーマットで USB フラッシュメモリーに保存して、当日会場へご持参下さい。Mac をご使用の場合は予めご連絡願います。
- ・研究発表者は、研究発表要旨を必ずご提出下さい。研究発表要旨は『地域研究』に掲載いたします。『地域研究』の執筆要項にしたがってご執筆の上、大会当日に編集委員会までご提出下さい。

7. 研究発表大会プログラム・会場案内について

研究発表大会プログラム・会場案内については、次号学会ニュース(2012年5月発送予定)、ならびに学会ホームページ(<http://risweb2.ris.ac.jp/geosoc/>)に掲載いたします。

8. 展示について

例年、地理関係出版社の出版案内や図書販売がおこなわれております。個人向けの展示スペースも確保しておりますので、地図等の展示を希望される方は、集会委員会までご照会下さい。

○地理写真展作品の募集

今年も立正地理学会総会・研究発表大会と同時に、地理写真の展示を開催いたします。会員諸氏が自ら撮影し、地域の特徴をよくとらえていると思われる写真の出展をお願いいたします。

出展者は2012年4月20日(金)までに3頁の地理写真申込用紙に所定事項を記入の上、集会委員会宛に送付して下さい。※メールでも受け付けております。申込用紙と同一内容を記載して次のアドレスまでお送り下さい。アドレス: geosoc@ris.ac.jp

作品は、以下の様式にしたがって作成したものを持参し、大会当日に所定の場所へ展示願います。また大会終了後は、各自でお持ち帰り下さい。

【地理写真展 様式】

・A1(594×841mm)の台紙をタテに使用して下さい。

※1 写真の大きさ・枚数・貼り方は自由です。

※2 キャプションには、内容・場所・撮影日時など、撮影時の状況を付記願います。

(作品例)

テーマ	
氏名 (所属)	
写真 (※1)	写真 (※1)
キャプション (※2)	
写真 (※1)	写真 (※1)
キャプション (※2)	
写真 (※1)	写真 (※1)
キャプション (※2)	

2012 年度 研究発表大会 発表申込用紙

・発表者氏名・所属(共同発表の場合は、発表者に○印をつけて下さい)
・発表題目:
・発表形式(↓いずれかを○でかこんで下さい) 口頭発表 ・ ポスター発表
・連絡先 氏 名: 住 所:〒 — 電話番号: — — (自宅 ・ 勤務先) E-mail:

2012 年度 地理写真展申込用紙

・氏名(所属)
・テーマ:
・連絡先 氏 名: 住 所:〒 — 電話番号: — — (自宅 ・ 勤務先) E-mail:

※申込用紙をコピーしてご利用いただくか、立正地理学会ホームページからファイルをダウンロードして下さい。

○2012 年度立正地理学会評議員会のお知らせ

2012 年度立正地理学会評議員会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日時:2012 年 6 月 1 日(金)18:00 より
 2. 場所:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A610(会議室)
 3. 議題:1. 2011 年度事業報告の件
2. 2011 年度決算報告の件
3. 2012 年度事業計画案の件
4. 2012 年度予算案の件
5. その他(他に議題のある評議員の方は、集会委員までお知らせ下さい。)
- 詳細については、次号ニュースにて評議員の方に同封する出欠ハガキをご確認下さい。

○秋季例会(沖縄)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)

第 36 回立正地理学会秋季例会ならびに第 42 回講演会(予定)を 12 月 8 日(土)に、第 109 回臨地研究会を翌 12 月 9 日(日)に、沖縄地理学会と共催で沖縄国際大学(宜野湾市)にて実施する予定です。日時・場所に関するご案内は、7 月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://risweb2.ris.ac.jp/geosoc/>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

今回の秋季例会はシンポジウム(基調講演およびパネリスト報告)形式とし、口頭発表の募集は行いませんので予めご了承下さい。

○第 40 回講演会報告

2011 年 10 月 29 日(土)、第 40 回講演会を、福島大学教授の山川充夫先生をお招きして行った。会場の福島県二本松市の二本松商工会議所会議室には、35 名余りの参加者があった。

「震災復興計画づくりと経済地理学～福島県南相馬市復興計画を事例として～」という題の講演では、福島県復興ビジョン検討委員会や南相馬市復興市民会議に携わっている中で得られた復興計画づくりの経験と、経済地理学の視座にたった復旧・復興への考え方が語られた。特に、地理学が得意とするゾーニングや、復興と将来のまちづくりを担う若者が集まるための高等教育機関の重要性については、「今こそ地理学界の出番です。」という熱い言葉も使われて、参加者を鼓舞する有意義な講演であった。

講演で提示された資料は、震災と原子力災害に立ち向かっている最新の状況をまとめた貴重なものであり、大変お忙しい中、この準備をいただいた山川先生には、記して御礼を申し上げます。

(庶務・会計委員 鈴木重雄)

○第 108 回臨地研究会(福島)報告

2011年10月31日(日)、初澤敏生会員(福島大)・阿子島功会員(福島大)の案内により、第108回臨地研究会が福島県二本松市および福島市において行われた。テーマは「東日本大震災への対応と復興」であり、参加者は27名であった。

午前9時に前日から宿泊していた「岳温泉 あづま館」にて、支配人の鈴木安一さんから1980年代に岳温泉の「ニコニコ共和国」が注目を集め、その活動が2006年に終焉したこと、現在は「サステナブルツーリズム」を中心に「歩く岳で健康」などの活動を行なっていることをお聞きした。東日本大震災では、停電や建物損壊などの影響はあったものの、被災住民の受け入れを積極的に行なったことをご報告いただいた。

次に貸切バスで「奥の松酒造」の東日本酒造組合八千代蔵まで移動した。理事の殿川慶一さんから、奥の松酒造の発展過程や震災への対応について伺った。原発事故に対しては、独自に原料の安全性を確認し、その結果を公表することによって消費者へ安全性をアピールしていることをお聞きした。工場を見学後に「奥の松」の美味しいお酒を堪能し、工場を後にした。バスで二本松市の中心市街を移動しながら、初澤会員より二本松市の都市的特徴や震災による影響についての解説があった。

正午過ぎに「道の駅 ふくしま東和」に到着し、昼食後に桑の実のアイスを賞味した。その後、ゆうきの里ふるさと協議会の副議長である武藤一夫さんと企画担当の海老沢誠さんから、地域住民と協力して耕作放棄された里山を農地へと再生し、新規就農者を定住させる取り組みを続けてきたことをご紹介いただいた。また、福島第二原発から50kmの距離に位置しているため、風評被害によって道の駅の農産物がほとんど売れなくなってしまったこと、農地の土壌、水、農産物に含まれる放射性物質の検査結果を独自に公表したことにより、震災前の活気を取り戻しつつあることをご報告いただいた。

さらにバスで福島市内のあさひ台団地の崩壊地へと移動した。移動する車中からは、様々な震災の爪痕が見られ、胸が痛んだ。現場では今にも崩れ落ちそうな家屋が残った斜面を目の当たりにした。崩壊現場を後にして福島駅で15時半ごろに解散した。

今回の臨地研究会では、東日本大震災により被災した地域を訪れ、その被害の実態や復興への取り組みについて、様々な立場の方からお話をお聞きすることができた。被災地の一日も早い復興を願ってやまない。最後になりましたが、ご案内を頂いた初澤敏生会員・阿子島功会員の2名には記して厚くお礼申し上げたい。

(集会委員 好田誠弥)

○卒業生から在学生への応援メッセージ

10月29日(土)の福島例会において、卒業生に、在学生への応援メッセージをいただくことができました。これも会員間のつながりや友好化を図るためのものです。

今回インタビューを受けて下さった小川護会員(沖縄国際大学)は1981年に立正大学を卒業され、1988年に博士課程を修了されました。学部時代に学んだことと在学生へのメッセージを伺いました。

学部時代は澤田先生のもと農業地理学で植木の研究をしていました。学部時代に課題を見つけて解決するという、プロセスの方法を学び、今に生かされています。

これから社会に巣立っていく学生の皆さんはコミュニケーション能力が必要とされます。年代層の違う人たちとの関わりを大切にしてください。



福島市内にて(鈴木厚志会員撮影)

○第41回講演会報告

2011年11月5日(土)、第41回講演会を、立正大学名誉教授の正井泰夫先生と元国立国会図書館の鈴木純子先生をお招きして、日本国際地図学会との共催により行った。この講演会は、立正大学熊谷図書館主催の特別展「古地図・絵図 田中啓爾コレクションの世界」に併せて開催されたもので、会場の立正大学熊谷キャンパス1101教室には、50名余りの参加者があった。

正井先生からは、田中啓爾先生との様々な思い出話や、エピソード、田中先生の立正地理に対する多大な功績が語られた。鈴木先生からは、田中啓爾文庫に所蔵されている古地図、絵図の貴重さと、その一部についての解説がなされた。講演終了後は、開催中の展示室を両講演者と元立教高等学校教諭の清水靖夫先生による解説と共に見学を行った。

当日、配付された図録の作成、とともに、本講演会の準備をいただいた正井先生、鈴木先生には、記して御礼を申し上げたい。

(庶務・会計委員 鈴木重雄)

☆地理学教室だより☆

このシリーズも4回目となりました。今回は、2月に行われた地理学科の卒業論文研究発表大会について報告します。

○第7回卒業論文研究発表大会を終えて

2011年9月28日、1回目の卒論委員会が開かれ、各ゼミから選出された44名の委員が顔を合わせました。委員長の塚田諭(伊藤ゼミ4年)は「4年間、地理学科の学生として学んできた知識や経験を、最高の舞台で発表したい」と意気込み、毎月の委員会で入念な打ち合わせを行いました。

2012年2月8日～10日にかけて、卒業論文研究発表大会が開催されました。8日～10日にポスター展示が、10日には口頭発表が行われました。ポスターは40本の卒業論文が展示され、コアタイムでは学生達が真剣な眼差しで説明を聞いていました。口頭発表は、人文分野の発表が6本、自然分野の発表が1本でした。

今大会では、新しい試みが3つありました。会場が、前回までの6・9号館からアカデミックキューブに変更された事、地理調査法およびフィールドワークのポスター発表を行った事、口頭発表者には記念品の楯が贈呈された事です。どの発表でも学生同士の質疑応答が活発に行われ、有意義な発表大会になりました。

最後になりましたが、卒業論文発表大会を開催するにあたり、長坂政信先生を始め、多くの先生方のお力添えを頂きました。心より御礼申し上げます。

(酒井拓明)



口頭発表の様子(原美登里会員撮影)



ポスター発表の様子(原美登里会員撮影)

○今年度卒業予定の学生会員の皆様へ

この3月で卒業される学部4年生・院生の会員の方々には、来年度以降も会員として継続されることをお薦め致します。引き続き立正地理学会会員として、学会活動にご参加下さい。学会ニュースやホームページなどで、学会活動の他、地理学教室の情報などを提供していきます。会員継続をぜひご検討下さい。

継続される方は、事務手続きの都合上、2012年5月18日(金)までに年会費をご納入いただければ幸いに存じます。他大学や大学院などに進学される方は学生会員(2,500円)、それ以外の方は一般会員(4,000円)となります。郵便振替口座の番号・加入者名は下記の会費納入のお願いの項をご参考にお振り込み下さいますよう、お願い申し上げます。

○会費納入のお願い

今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しております。2011 年度分会費を含め、過年度分会費を未納の方には、払込取扱票も同封しておりますのでご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は以下の通りです。

会費および郵便振替口座の番号・加入者名

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下のとおりとなります。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際には、払込取扱票の振込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

編集後記

寒さも徐々に緩み、春の兆しが見えてきました。

今回は卒業論文発表大会の様子をお伝えしました。7回目の開催となる今大会では新しい試みがみられ、卒論委員会を中心に学生が主体となって

早い物で、来月から新年度が始まります。広報委員会(学会ニュース班)も、更なる紙面充実を目指して努力して参ります。インタビューや原稿依頼がありました際は、是非ご協力頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

(加藤 未来)

立正地理学会ニュース No.104

2012年3月15日発行 編集者 立正地理学会広報委員会

発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内

電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453